

熊野市まちづくり計画概要

この計画は、将来構想（基本理念・将来像・基本目標）を、2005（平成17）年から2024（平成36）年までの20年間とし、基本計画（新市の施策・事業計画・財政計画）については、2005（平成17）年から2014（平成26）年までの概ね10年間として策定しました。

本地域の概況

（1）面積・気候等

総面積は37,363ha(373.63km²)で、その約88%を森林が占めています。

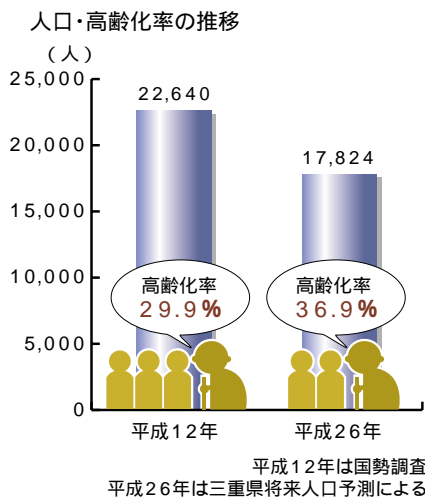
気候は、年間の平均気温が17℃前後と温かく恵まれた地域で、冬季は最低気温が氷点下になることもありますが、積雪は山間部でわずかに観測される程度です。

この地域は、世界遺産熊野古道を代表とする、すぐれた歴史的・文化的資源や海・山・川の恵まれた資源を豊富に有しています。

（2）人口

平成12年の国勢調査で、総人口22,640人、高齢化率が29.9%となっています。平成16年4月の住民基本台帳人口では、総人口22,189人、高齢化率が32.2%と国に30年先がけて高齢者が3人に1人という超高齢化社会を迎えています。

何もしなかったら、本計画の目標年次の平成26年には、総人口17,824人、高齢化率36.9%になると予想されています。



新市の課題

- 産業の活性化による働く場の確保
- 少子・高齢化への対応
- 自然災害への対応
- 交通体系の整備
- 地域特性に応じた生活環境基盤の整備
- 地域を担う人づくり
- 地域資源の保全と活用
- 行政サービスの維持向上



豊かな自然と歴史に育まれた、 活力と潤いのあるまち・熊野

